

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	理学療法技術論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部3年	学期及び曜時限	前期	教室名	機能訓練室
担 当 教 員	川原田 進				
実務経験とその関連資格	鍼灸師・トレーナーとしてクリニックで勤務(8年)。その後、理学療法士として晴風園今井病院に勤務し、医療・療養型病棟(1年)、回復期リハビリテーション病棟(6年)に従事する。整形外科疾患や脳血管疾患を中心に数多くの症例のリハビリテーションを経験した。3学会呼吸療法認定士・福祉住環境コーディネーター2級所持。 また大学院では運動生理学教室に所属し運動パフォーマンスと疲労について研究を進め学会でも発表している。健康学修士。				
《授業科目における学習内容》					
運動学や動作学で学んだ知識を基に、症例に対する動作練習のアプローチ方法を学びます。 特に基本動作のメカニズムを理解し、症例個々に合わせた練習方法や介助方法の検討が出来るように、講義と実技および演習を行います。					
《成績評価の方法と基準》					
定期試験を80%とし、毎回の授業の初めに前回の授業の復習のために小テストをします。この小テストの点数を加点します。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
教科書:動作分析臨床活用講座バイオメカニクスに基づく臨床推論の実践 第2刷:石井慎一郎、MEDECAL VIEW 2013 配布資料:レジュメを毎回配布します。					
《授業外における学習方法》					
動作分析学の資料を復習すると授業が分かり易いと思います。					
《履修に当たっての留意点》					
この科目では動作の誘導や介助など、障害を持った患者様に対してリハビリテーションの誘導や介助指導を行うために必要な知識と技術を習得します。まずは一般的な正常動作を復習しておきましょう。					
授業の方法 A2746	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	寝返り動作におけるメカニズムを理解し、説明が行えるようになる。	教科書 レジュメ(寝返り)	寝返り動作のシーケンスの復習	
	各コマにおける授業予定	授業オリエンテーション 動作誘導① 寝返り動作 (寝返り)			
第2回	授業を通じての到達目標	寝返り動作のメカニズムを理解した上で、動作の誘導が行えるようになる。	教科書	寝返り動作のpointの復習	
	各コマにおける授業予定	動作誘導① 寝返り動作 (背臥位→寝返り→側臥位)			
第3回	授業を通じての到達目標	起き上がり動作におけるメカニズムを理解し、説明が行えるようになる。	教科書 レジュメ(起き上がり)	起き上がり動作のシーケンスの復習	
	各コマにおける授業予定	動作誘導② 起き上がり動作 (起き上がり)			
第4回	授業を通じての到達目標	起き上がり動作のメカニズムを理解した上で、動作の誘導が行えるようになる。	教科書 レジュメ(起き上がり)	起き上がり動作のpointの復習	
	各コマにおける授業予定	動作誘導② 起き上がり動作 (側臥位→起き上がり→座位)			
第5回	授業を通じての到達目標	立ち上がり動作におけるメカニズムを理解し、説明が行えるようになる。	教科書 レジュメ(立ち上がり)	立ち上がり動作のシーケンスの復習	
	各コマにおける授業予定	動作誘導③ 立ち上がり動作 (起立)			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	立ち上がり動作のメカニズムを理解した上で、動作の誘導が行えるようになる。	教科書 レジュメ(立ち上がり)	立ち上がり動作のpointの復習
	各コマにおける授業予定	動作誘導③ 立ち上がり動作 (座位→起立→立位)		
第7回	授業を通じての到達目標	歩行動作におけるメカニズムを理解し、説明が行えるようになる。	教科書 レジュメ(歩行)	歩行動作のシーケンスの復習
	各コマにおける授業予定	動作誘導④ 歩行 (歩行・階段昇降)		
第8回	授業を通じての到達目標	歩行動作のメカニズムを理解した上で、動作の誘導が行えるようになる。	教科書 レジュメ(歩行)	歩行動作のpointの復習
	各コマにおける授業予定	動作介助④ 歩行 (立位→歩行・階段昇降)		
第9回	授業を通じての到達目標	移乗動作のメカニズムを理解し、説明が行えるようになる。	教科書 レジュメ(移乗)	起立・着座のシーケンスの復習
	各コマにおける授業予定	動作誘導⑤ 移乗 (ベッド⇄車椅子など)		
第10回	授業を通じての到達目標	移乗動作のメカニズムを理解した上で、動作の誘導が行えるようになる。	教科書 レジュメ(移乗)	起立・着座のpointの復習
	各コマにおける授業予定	動作誘導⑤ 移乗 (ベッド⇄車椅子など)		
第11回	授業を通じての到達目標	障害レベルに合わせた移乗介助方法の要点が説明し実施できる。	教科書 レジュメ(移乗介助)	起立・着座のpointの復習 事前に提示した動画を視聴
	各コマにおける授業予定	技術習得:移乗介助		
第12回	授業を通じての到達目標	障害レベルに合わせた移乗介助方法の要点が説明し実施できる。	教科書 レジュメ(移乗介助)	起立・着座のpointの復習 事前に提示した動画を視聴
	各コマにおける授業予定	技術習得:移乗介助		
第13回	授業を通じての到達目標	補助具を用いた移乗介助方法の要点が説明し実施できる。	教科書 レジュメ(治療手技②)	事前に提示した動画を視聴
	各コマにおける授業予定	①補助具:トランスファーボード		
第14回	授業を通じての到達目標	補助具を用いた移乗介助方法の要点が説明し実施できる。	教科書 レジュメ(治療手技③)	事前に提示した動画を視聴
	各コマにおける授業予定	②補助具:スライディングシート		
第15回	授業を通じての到達目標	インシデント・アクシデントの予防対策が実行できる。	教科書 レジュメ(配布資料全て)	事前の配布資料を読んでおく
	各コマにおける授業予定	危険予知訓練(KYT)		